

「人の気も知らないで」(作／横山拓也) [2021.01改]

【登場人物】

綾(アヤ) ♀

心(ココロ) ♀

長田(オサダ) ♀

春。よく晴れた日曜日夕方。

チェーン展開しているセルフサービスのコーヒーショップのこのフロアには、綾と心しかない。

二人は沈痛な面持ちである。示し合わせることなく、ひとつのテーブルについて、

綾 ショック。

心 うん。

綾 ああ…

心 ここまでどうやって来たか覚えてないですもん。

綾 ね。

心 ホンマなんなんすか。

綾 情けないわ、私。

心 え。

綾 なんも言えんかったもん。

心 しゃーないですって。私もやし。

心がハンカチで目を押さえ、鼻をグスグス言わせる。

綾 …心。

心 あちゃいますよ。これは花粉症。

綾 ああ。

心 薬切れたかな。

心、ポケットティッシュを鞆から取り出して鼻をかむ。

続いて目薬を取り出し、さす。

綾 キツイ？ 今年。

心 ええ。毎年キツイですけど。なんか今虫歯もひどくて。

綾 へえ。首から上、全滅やん。

目薬を差し終えてから、

心 あの、全滅って言い方やめてもらえませんか？

綾 あはーい。(ふざけて)

心 「はーい」って。

綾 なあ知ってる？ 杉って、戦後、日本の国策でめっちゃ植林されてんで。

心 何の話ですか。

綾 杉やん。心をはじめ、日本中の春を苦しいものにしてる杉は、国が人工的に植えて増やしたもんなんやって。

心 それ今週号の買い原稿の候補になってたやつでしょ。

綾 あ目通してた？

心 一応。戦後の復興で、木材の需要が高まってそういう施策が取られたっていう。そうそう。今は木材の価格が下がって、アジア諸国からの輸入ばかりになって、昔からの杉林は荒れ放題っていう。それが花粉症の原因の一つって思ったらちよつと驚きちゃう？。

綾 ええ。

心 私、あの原稿読んで考えてんだけど、今その責任を誰も取ってへんのがおかしいと思うねん。

綾 どういうこと？

心 ある意味で花粉症って人災やん。やとしたら誰かが騒ぎ出してもええと思うねんけど。国相手に裁判するとか。

綾 花粉症で裁判ですか。

心 うん。やってみいや心。裁判。

綾 なんで私が。

心 面白そうやん。私がリポートして記事にしたんで。

綾 はあ？ 綾先輩編集ちゃうし。

心 田中さん辺りやったら面白がって動いてくれるんちゃう。

綾 結構です。

心 結婚祝いに一肌脱いだりいや。

綾 花粉症ネタに国相手取って裁判起して何の結婚祝いになるんですか。

心 冗談やん。

綾 分かってますよ。

心 せやけど、あの原稿、その辺まで突っ込んでたら買ったのになあ。

綾 そんな権限ないし。綾先輩、その編集部への憧れなんですか？ ちらはしがない広告制作ですよ。

心 分かってる。今言いたいのはちゃうやん。日本人の気質の話まで書いてたらあの記事も価値あんのって話やん。はいはい。

綾 結局面倒くさくなって、諦めて、受け入れて、流れに任せて、様子見続けるっ
ていう感じじゃん。なんでも。
心 まあね。
綾 うちらは一応マスコミの端くれやねんから、そのくらい感覚もったかんと。
心 ミニコミ、ミニコミ。うちのタウン紙、マスちゃうから。
綾 あんたはイチイチ。
心 にしても、田中さんとカオリンさんが結婚か。想像したら笑えませんか？ あの
二人が恋愛してるとこ。

心の軽口を置き去りにするように、綾は大きいため息をついた。

綾 アカン。また思い出してもうた。
心 ……アデコですか。
綾 うん。アデコの顔思い出すだけで胸が痛い。
心 無理に笑ってくれたりしてね。
綾 どんだけ強いねんあの子。
心 頭下がりますよ。
綾 方や結婚式やなんやって盛り上がってて…
心 同じ社内で雲泥の差ですね。
綾 ホンマ。
心 正直あんなひどいことなってるって思ってたよ。
綾 なあ？ もう大分良くなったって言うからお見舞い行ったのに。

二人はアデコを思う。

心がまたハンカチで目頭を押さえる。

心 くっそ、スギ花粉め。政府め。
綾 これからどうすんねやろ。
心 アデコの人生の話ですか。
綾 アデコの人生の話。
心 ー。
綾 仕事かって…なあ。
心 ですよ。営業やし、お客さんも…ねえ。
綾 明日なんて言う？ 会社で。
心 あんまりセンサーシヨナルな言い方すんのもアレですしね。
綾 そやねん。
心 何も言わんわけにもいかんし。
綾 そやねんなあ。社長とか朝イチで絶対聞いてくるやん。
心 ですよ。

綾 掲示板貼っといたろか。事務的に。
心 アカンでしょ。
綾 分かってるけど。だからって、なんて言うんよ？
心 まあ、代表して言うんは綾先輩ですからね。
綾 なんでえ。
心 そらそうでしょ。
綾 もう：
心 私はオサダさんの反応が一番気になりますけど。
綾 うん。まあある意味今日が予行演習にはなるかしらんけど。
心 オサダさんでも流石にシヨック受けるでしょうね。
綾 そらなあ。
心 最初軽く泳がしてみます？
綾 えどういう意味？
心 オサダさん、今日もアデコが穴開けてる営業先回ってるでしょ？ 絶対文句言
綾 いながら入ってきますよ。
心 想像つくけど。
綾 愚痴多すぎるでしょあの人。
綾 ホンマ文字通り「口」に濁点つけたような人間やからな。
心 「口」に濁点？
綾 ええねん。ほんで何？ 泳がすって。
心 いやだから、オサダさんにね、アデコの文句を言わずだけ言わしてから、アデ
綾 コの右腕切断のこと伝えて凹ます、みたいな。
心 ちよう性格悪いでそれ。
綾 性格悪いですけど。なんか、最近オサダさん自分だけ仕事背負わされてるみた
心 いな悲壮感バンバンに漂わしてるでしょ。自分だけ悲劇のヒロインみたいな風
綾 体で、ところ構わず当たり散らしてくるじゃないですか？
心 風体で。
綾 そら綾先輩とかには無いかもしれないですけど、私らみたいな後輩は完全に標
綾 的ですからね。
心 私らにも結構キツイときはキツイで、あの子。
綾 でしょ？
綾 まああの子も色々あるからなあ。
心 そんな誰かて色々ありますよ。色々抱えながら普通を装って暮らしてるんじ
綾 やないですか。
綾 うん、分かってんで。一回オサダにはその辺バシって言わなアカンとは思っ
心 てんねんで。
綾 お願いしますよ。

心のスマホにメッセージの着信。それを確認しながら、

心 　　って言ってたらオサダさん。(文面読みもって)間違ってるマックの方の出口から出たって。

綾 東口。

心 　　もう、あの人。多分着くなり言いますよ。「わかりにくいわ!」って。

心 「了解」の返信をして、携帯をしまう。

綾 　　もう分かったって？

心 　　ああはい。今ファミマの前あたりらしいんで。

綾 (頷いて) けど、今からカオリンの二次会の余興の打ち合わせやん？

心 　　ええ。

綾 ピリピリやと思うわ、オサダ。

心 　　ですね。

綾 カオリンの授かり婚に伴う緊急大量引き継ぎ地獄 からの “ アデコの交通事故 やろ。

心 　　ただでさえ少数精鋭でやってる営業課が、今文字通り満身創痍ですもんね。

綾 オサダにしてみたら、アデコなんかようやく育った右腕やもんなあ。

心 　　…ええ。

不意に空白の時。

綾 　　…えちよっと待って。私別に「その右腕を失った」みたいなブラックなこと言うつもりちゃうで。

心 　　思ってますんし。

綾 　　ちよっと間空いたやん。

心 　　ええ。…正直に言いましたよか？

綾 　　ちょ誤解やで。

心 　　さっきの間は、私が言いかけたのをグツと飲み込んだ間です。

綾 　　うわ、ひっど。

心 　　綾先輩が右腕に例えるからでしょ。

綾 　　事故みたいなもんやんか。

心 　　うわ、また。

綾 　　違う違う違う。今のはマジで違うって。

心 　　絶対わざとやあ。

会話は不謹慎に盛り上がるが、やがて収束して沈黙する。

綾、思い詰めるような顔で、神妙に切り出す。

綾 なあ。
心 はい。
綾 ケーキ食べたくない？
心 て、どんな真剣な話されるんか思ったら。
綾 真剣やで。ケーキ食べたない？
心 この流れでケーキ出てくる思いませんでした。
綾 オサダ来たら店変える？
心 ケーキ合わせで？
綾 うん。ていうかオサダおさない？ 幼いちゃう。遅ない？ ていうか「オサダ遅
心 ない？」ってめっちゃ言いにくい。
綾 何を一人でゴチャゴチャ言ってるんですか。
綾 むっちゃケーキ食べたなってきた。なかった？ 通ってきた商店街、ケーキ屋
心 さん。
綾 さあ。
綾 え、食べようや。
心 いや、ダメなんですよ。私このあと歯医者なんですよ。さっき言ってた虫歯が。
綾 何？ 心ケツあんの？
心 「ケツあんの」って言い方。業界人か。
綾 今日そんな早よ終わるか分からんで。
心 詰めモン取れてるんですよ。
綾 今日、日曜やん。
心 日曜やってるとこ見つけて。今日逃したらまた一週間空くし。
綾 ええ、こっちも今日しかないで。オサダからもブーイング出るって。
心 だから早く終わらせましようよ。
綾 ちょっと何その言い方。こっちは徹夜で考えてきてなのに。3人バージョン。
心 ああ、

と、言いながら心は花粉症の薬を取り出してコーヒーで飲んだ。

綾 えちよっと待って。
心 はい？
綾 今コーヒーで薬飲んだ？
心 ああ、はい。
綾 うわ、そういうのん平気なんや心。
心 水もらうん面倒くさいし。
綾 カフェインとか大丈夫なん？
心 分かんないですけど、そういうのは。

そこに長田が登場する。

心 あ、お疲れ様です。
綾 オサダお疲れ。
長田 ここむっちゃ分かりにくい。
心 あ、やっぱり言った。
長田 何なん？ ただでさえ疲れてんのに、この、駅からの微妙な距離。
心 それはオサダさんが出口間違えるからでしょ。
長田 西とか東で言わんとってや。右左でええやん。
心 右左やったら向いてる方向で変わるし。
長田 なあ、ちゃんと西口って言うてくれてた？
心 ええ、LINEで。
長田 LINEで。LINEとか分からんし。
心 LINE分かるでしょ。
長田 分からんときもある。
綾 これか、当たり散らすって。
長田 何が。
綾 なんでも。
長田 ああ、しんど。
心 ここ空いてて穴場なんですよ。

長田、座る。

長田 て椅子固あ。なんか暗いし。え、これ電気ついてる？ で、ちょっとここ寒ない？
綾 あんたわざと文句つけてへん？
長田 はあ？
綾 何でそんなキレてるん。ちょっと落ち着き。ほんでケーキ食べにいこ。
長田 なに突然。
綾 ちゃうねん、オサダ来たらケーキ食べれる店に移動しよう言うててん。
心 「言うててん」ちゃうでしょ。
長田 この距離歩かせといてよう言うわ。
心 行きませんからね。
綾 ー、ケーキい。
心 甘えてもあきません。
綾 ケーキだけに。
長田 おもんな。
綾 モンブランでいいから。
長田 「いいから」の意味がわからん。
綾 え、食べたないん？

長田 食べたないわ。

綾 わかった。そしたらジャンケンで決めよ。

心 何を決めるんですか。食べたいの綾先輩だけでしょ。さっさと余興の打ち合わせ始めましょ。揃ったんですから。

綾 「さっさと」って何。自分ケツあるからって。

長田 そうなん？

心 言うてもまだ結構時間あるから大丈夫ですけど。

綾 ほんならケーキ食べにいけるやん。

心 ケーキは歯医者の前に食べたくないんですって。

長田 歯医者？ 今日日曜やで。

心 日曜やってる歯医者見つけたんです。

綾 歯磨いてったらええやん。

心 詰めモン取れてるって言うたでしょ。

長田 ウソ、見して。

心 見てどうするんですか。てかホンマに見たいですか？

長田 見たないけど。

心 どないやねん。てどんだけ喋らすんですか。しんどいわ。

長田 (綾に) なんで心こんなノリノリなん？

心 ノリノリちゃいますし。

綾 ケーキ！

心 ない！

綾 ケーキ！

心 ない！

綾 ぶー！

心 「ぶー」て。ちょっともう何なんですかコレ。

長田 なんかあんたら見てたら平和やわ。

綾 え。

長田 ええなあ、なんか。ノンキで。

綾 何。

長田 もうこっちずっと戦争やから。事務方のお二人には分からんやろうけど。

心 今日何件回ったんですか？

長田 数は別にアレやけど、ゴールドデンウィークの行楽特集用の広告で内容詰めなアカンくて。元々自分で動かしてたやつちゃうから気いも遣うし、ムダに頭も使うやん？ ムダにすることはないけど。

心 ああ：お疲れ様でした。

綾 何急にオサダ。今の今まで一緒にふざけて喋ってたやん。

長田 私も大人やし。合わせるよそら。

綾 ほんなら最後まで合わしいや。大人なんやったら。

長田 お互い大人になろうって話やん。

心 あ、なんか飲みモン頼んできましょか…

長田 とりあえずええわ。これあるし。言われたらなんか注文する。て、店員おるん？
鞆からペットボトルのお茶を取り出す。

心 あ、オサダさん、この店、去年一回だけ広告出してきてるん覚えてます？
長田 え？

心 私打ち合わせで一回この店長さんと会ってるんですけど、紹介しましょか？
今日いてはるかな。

長田 えー。もう今日仕事の話止めへん？ もうパンク寸前やから。
心 ああ。そう、ですね。

長田、肩のあたりを揉みながら、

長田 ああ、マッサージ行きたい。
綾 行ってへんの最近。

長田 一昨日行った。もう限界来て。肩とか腰とかガツチガチで。「ようこんな体で生活してますねえ」やって。「骨盤の歪み方最悪」とか言われるし。頻繁に行かなアカンことくらい分かってるけど、そんなしょっちゅう行かれへんっちゅうねん。

心 オサダさん、Mでしょ？
長田 は？

心 私もたまに接骨院行きますけど、あのちよっとキツイ感じで言われんの、変に気持ちいいですよね。客やのに軽く怒られる、みたいなの。

綾 わかる。その後に「そんな頑張らんでええねんで」的なアムムチ使ってくる人とかもおるやん？

心 はいはいはい。
綾 アレって完全演技やんって思うときあるけど、M気質にはたまらんよな。

心 ていうか、女ってほぼ全員Mなんですよね、結局。
綾 かも。

と、二人笑い合う。

長田 私別にMちゃうけど。
心 嘘お。

綾 えオサダS？ ていうかSっほいな。
心 それか、隠れMですよ。もしくはドMですよ。

綾 なんて「ド」Mなん。

長田 そのさ、SとかMとかで人間を分類する会話って不毛や思うねんけど。ほとんど

どの人がどっちの一面も持ってるやん？

心と綾は笑うのを収束させて、

綾 …うん。

長田 あと、私行ってる接骨院の先生はホンマのことしか言わへんから。

綾 …うん。

長田 なんかさっきのアメムチみたいな会話、全然乗れんくて。

綾 ああ。

心 …オサダさんちゃんとしたところ行ってそうですもんね。接骨院。

長田 そらな。まあ相性がエエだけやけど。もう私の体のごときはその先生にしか任せられへんから今。

綾 (笑って心に) なんかエロない？ それ。

長田 女の先生やから。

心 女医。

綾 てことは、♪女医と、女医と、女医と ポップなベイビー♪

心 ♪女医と、女医と、女医と ハッピーなピーポー♪

綾・心 ♪

と、うろ覚えの楽曲に、適当な歌詞をつけて二人して歌ったことに笑い合う。

長田 えそれ何がオモロいん？

綾 別にオモロい思ってたやあってへんよ。

長田 めっちゃ練習した後が見えんねんけど。

心 カオリンさんも今ブライダルエステとか行ってるんでしょね。

綾 ああ。

心 週明け大抵肌ツヤいいし。

綾 ええなあ。

心 綾先輩の「ええなあ」は「ブライダル」の部分でしょ。

綾 バレた？

心 バレバレですよ。

綾 カオリンめっちゃ肌キレイやのに、もうええやんな？ エステとか。

長田 ホンマやで。そんな時間あったらお客さんとこ何軒か回ってほしいわ。

綾 あれ、仕事の話せえへんのちゃうん？

長田 はいはい、そうでした。

心 綾先輩、彼氏さん相変わらずですか？

綾 結婚？

心 ええ。

綾 もう避けまくりやからね、その話になったら。

心 そっか。
綾 私ももうあんまりせえへんけどな。
心 あんまり迫るとね。
綾 向こうも若いから。
心 それだけが自慢ですもんね。
綾 そうそう7つも下で夜の求め方がえげつないから、ってコラ。
長田 ノリ突っ込みで。
綾 何よ。テッパンやねんでこのネタ。下ネタやけど。
長田 最低。
綾 ちょっと何。オサダ機嫌悪いん？
長田 機嫌？ 別に悪ないよ。
綾 いつもよりキツイ。それがオサダの休日バージョンなん？
長田 そんなバージョンないし。
心 レディースデイですか？
長田 ちゃう。
綾 やとしたらちょっと嫌（けん）あんで。その態度。
長田 …ごめん。

長田が素直に謝ってきたので、綾と心は意外に思う。

心 何かありました？
長田 コーケンさんと、ちょっとあつて。
綾 今日の打ち合わせコーケンさんとやったんや。
長田 うん。ごめんごめん、ええねんええねん。（自分が）仕事の話ナシ言うといて。
心 そういう話やったら全然聞きますよ。ねえ？（綾に）
綾 うん。コーケンの社長、難しいのんはみんな知ってんねんから。あのエロ親父。
心 私は電話でしか喋ったことないですけど、何でしたっけ、いっつも言うヤツ。
綾 「愛人にしたるかあ」
心 ああ。
綾 「チチ揉ませて〜」
心 もう完全アウトのやつ。あのおっさんヤバ過ぎですよ。
綾 時代の流れが読めてへん。そのくせ仕事に厳しいっていう。
心 新しい担当が行ったら大抵泣かされて帰ってきますもんね。
長田 私それなりにキャリアあんねんけど。
心 そうですけど。
綾 前の担当って、カオリン？ アデコ？
心 アデコですよ。
綾 そうなんや。意外。
心 でも、アデコが担当になってからコーケンさんノークレームなんですよ。

綾 あ、聞いたことある。一回会社の忘年会のとき話題なってた。

長田 ああ、ごめん！ やっぱ今思い出したくない、コーケンの社長の顔。

心 ああ。

綾 わかるわ。あの玄関マット丸めたみたいな顔。

心 まったく想像つかへん。え玄関マット？ え丸める？

長田 筒状にした、ここ。

心 え渦巻いてるんですか？

綾 巻くか！ 妖怪やんそんなん。

心 だってそういうことでしょ？

綾 会うたらわかるわ。

心 うわあ。めっちゃ上手い映画の予告編見せられた気分。

綾 当たり前やん。何年広告畑でやってる思ってるんよ。

心 え言うていいんですか？

綾 いやん、言わんとって。歳ばれるう。(長田に) って、これも Teppan やねんけど。

長田 今のは笑えたかも。

綾 って全然笑ってへんし。

心が化粧を直すためにポーチを取り出す。

綾 心？

心 あはい。

綾 えもう出る気なん？

心 あいえ、鼻水止まったから化粧直し。

綾 ああ。って怖いくらい薬効くやん。

心 薬ってそういうもんでしょ。

長田 花粉症？

心 ええ。

綾 あれちゃう？ カフェインで飲んだからちゃう？

心 ちやいますよ。

と、ファンデーションのコンパクトを開くと、

心 うーわ、最悪。割れてるしファンデーション。

綾 え？ (覗き込んで) わー凹むう。

心 これ香港のお土産でもらったばかりやったのに。

綾 もうええやん、化粧なんか。私らだけやねんから。

心 歯医者行くんです。

と、慎重にファンデーションを塗りながら会話する。

綾 もう歯医者もええやん。8020運動とか流行らんで？

心 流行り廃りで歯医者が行ってるんちゃいますから。

綾 入れ歯入れてこうや。一億総入れ歯。

心 何言うてんのこの人。

綾 私なんかもう歯も磨かへんもん。

心 どうなりたいたいんですか綾先輩。諦め早過ぎでしょ。

綾 時間もつたいないやん。

心 歯磨きの時間削って何が出来るんですか。

綾 モンダミンでええやん、モンダミンで。

心 絶対嘘ついてるわこの人。

綾 もう人生折り返しやで。

心 折り返してからでしょ、勝負は。どこで私の王子様と出会えるか分からないんですから。

綾 (長田に) 王子様やて。

心 もうゲットしてる人には分からないでしょうけど。

綾 私の王子は朝から晩までコピー機のトナー抱えて市内歩き回ってるだけやどな。若いだけ取り柄でお金も夢もチボー(希望)もない。どんな王子様やねんそれ。

長田 綾さ、いつからそういうキャラなん？

綾 え？

長田 自虐キャラっていうか。汚れキャラ？ 同期の綾にそれやられたら結構厳しいもんあんねんけど。

綾 同期言うても、私の方が歳二つも上やし。

長田 だって、彼氏もおって…

心 ですよね？ 贅沢ですよ綾先輩。

綾 こうしてた方が楽やねんもん。

長田 ー。

綾 オサダこそ、その後どうなん。

長田 何もあるわけないやん。

心 その後って何ですか？

長田 なんでもない。

心 どの後ですか？

長田 なんでもないって。

心 うわ、完全に隠された。

長田 綾。(何を言い出すつもりやったん？の意)

綾 ごめん。

心 うわ、何ですかそれ。

長田 はい、そろそろ余興の打ち合わせしよ。終わらへん。

心 切りあげた。

長田 永遠に始まらなそうやったから。

心 分かりましたよ。えと、綾先輩が3人バージョン考えて来てくれてるんですよ。徹夜で。

綾 そやで。(長田に) あんただけちゃうでえ、今日しんどいの。

長田 余興のアイデアで徹夜せんとしてえや。

心 まあ聞きましようよ。4人でやるやつを3人バージョンでどうやってやるんか。

綾 うん、まあ正直フォーメーションめっちゃ複雑にはなんねんけど。

長田 ゲ。シンプルにする言うてたのに。

綾 言うても限界あるから。

心 他のメンバーに入ってもらうプランは完全に却下ですか？

綾 だからそれはさ、大前提で、カオリンと田中さんが付き合うきっかけになったコンパに参加してたメンバーでやらんと意味ない、っていう話になったやん。

心 そうですけど。

綾 ホンマはアデコも含めた4人でやってこそやってんけど、

長田 なあ。

綾 ん？

長田 私思うねんけど、3人なった時点で余興断ってええんちゃう？

綾 は。

長田 私今日これだけ言おう思ってたくらいやねん。

綾 よう言うわ散々喋っついて。ていうか、私の3人バージョンの説明まず聞きたいや。

長田 だって、この3人にこだわるってことは、あんとときのコンパの話も挟むってことやん？

綾 そら軽くは言うんちゃう。

長田 そしたら、自然とこないだの花見の話もせなアカンやん。ほんで、その帰り道にアデコが事故ったことにも触れなアカンくなんぞ？ なんかめでたい席でそれってどうかと思うわ。

綾 触れたってええやん。何も隠すことちゃうし。

長田 でもそれが、せっかくの結婚式を白けさせんねんで。

綾 白けさせるって何。アデコの事故がなんで白けるんよ。

長田 そらそうやろ。引くって。

綾 引く？ 引くって何。

長田 引くやろう。

心 あの、オサダさん。アデコのお見舞いとか行きました？

長田 私？

心 行ってないですよ。

長田 そんな行く暇どこにあるん。お見舞い行くより重要な「尻拭い」、あの子ため

に散々やってんねやんか、こっちは。

心 私ら今日行ってきたんですけど。

長田 知ってるよ。昨日言うてたやん。

心 アデコ、今むっちゃ闘ってるんですよ。

長田 何と。

心 己とですよ。

長田 おのれと？

心 これからリハビリとかも頑張っていかなアカンし。

長田 そらアデコはアデコで頑張るのは当たり前やん。『己』の体やねんから。ただ、自分が花見で酒飲んで、自転車乗って帰ったんやろ。もうその行為自体がイチ社会人として責任感無さ過ぎるわけやん。結婚式、社外の人も来るのに会社のイメージダウンにもなりかねんやろ。それで引かれる言うてんねやん、私は。会社のイメージダウンとか分かりませんが、実際引いてんのはオサダさんでしよ？

長田 は？

心 アデコの仕事、全部自分に回って来てるから。

長田 それもあるよ。

心 認めた。

長田 こんなん言いたないけど、私4月なってからほぼ休みゼロやねんで。普通にエエ加減にしてくれ、思うで。

心 でもカオリンさんはおめでたやし、アデコかて好きで事故したわけちゃうんですから。

長田 でも好きで飲んだ酒やろ？ 飲むの分かってて自転車で来たんもアデコやろ？

心 そうかもしれないけど、

長田 私言うてること間違ってる？

心 オサダさん、アデコの状態知らんからそんなん言えるんですよ。

長田 最低3ヶ月入院やろ。知ってるって。ほんなら心さ、私のゴールデンウィーク、全部アデコに捧げなアカンことも知ってる？

心 アデコはそんな3ヶ月とかゴールデンウィークとか、そういうレベルじゃないんですよ。

綾 心、今ええって。

長田 正直辞めるんやったら辞めるで早く決断して欲しいし。社長も会社絡みの花見の後の事故やったから知らんけど、妙に庇うやん。面倒臭いねん。

心 すみません綾先輩。やっぱり聞くに耐えないんで。

長田 何。

心 (長田に向き直り) ちょっとショッキングなことを言いますよ。

長田 は？

心 アデコの今の状況ですけどね、跳ねられたあと、後続車に踏まれた右腕の損傷が激しくて、肘から先、切断する手術したんです。

長田は返さない。

心 分かります？ アデコの右腕、もう無いんですよ。

長田 ほんで？

心 「ほんで」じゃないでしょ。

長田 「ほんで」やろ。ほんで何なん？

心 考えてみてくださいよ。25、6の女の子の、この先に待ってる右腕の無い人生。

長田 (ちょっと笑って) 右腕の無い人生って何やねん。

心 何で笑えるんですか？

長田 別にアデコのこと笑ったんちゃうし。

心 えオサダさん、ちゃんと理解してます？

長田 心はちゃんと理解してるん？

心 見てきましたから。

長田 で理解したん？ 何を理解したん。

心 少なくとも、アデコのこと考えたら自分の仕事が忙しいとか言える状況じゃないってことですよ。

長田 それが心が理解したことなん？

綾 オサダも心もその辺にしいや。

長田 その辺にするって何？ アデコのこと私の膨大な仕事量もその辺で曖昧にしとぎってことなん？

綾 ちょっと当たらんというや。

長田 私逆に聞きたいわ。心がアデコの何を理解して、ほんでどうするんか。

心 サポートしますよ。出来る限り。

長田 サポートって？

心 それは、アデコが復帰して、実際に生活してみた上で、何が困るかってのを聞いてからですけど。

長田 それってアデコの生活全般サポートするってこと？

心 だから出来る限りで。

長田 出来る限りって心の「限界」までってことやんな？ 心の限界ってどこなん？ そんな揚げ足取らんとってくださいよ。常識の範囲ですよ。

長田 常識の範囲のサポートって何？

綾 オサダ。

長田 おかしい思うねんけど。心が言う「出来る限り」とか「常識の範囲」って、心の生活を脅かさない範囲ってことやん。アデコの右腕の無い人生と、心の都合と天秤に掛けるってことやん。

心 私が言いたい人はそういうことちゃうくて…

長田 分かってんで。もっと甘ちゃんで表層的な「優しさ」の話がしたいんやろ。

心、反論の材料を探しているが、返せない。

長田 万一、心がき、私が思ってる以上にアデコのサポート出来たとしても、その内言い出すで。不満タラタラで「自分の時間がない」とか「アデコに自分の人生捧げたくない！」とか。今の私と変わらんで多分。むしろ酷いんちゃう？

心 私そんなこと言いません。

長田 ふーん、ほんなら一生アデコの側でアデコの右腕になってサポートするってことなん？

心 なんでそんな極端なんですか？

長田 心の覚悟を聞いてんねん。

心 そんなん、アデコだっでどこまで望んでるかまだ分からんし、そのうちいい人見つけて結婚したら旦那さんが、

長田 結婚？ 出来る思てるん？

心 なんで出来ないんですか？

長田 あんた片腕ない男と結婚できるか？

心 腕の有る無しで判断することじゃないでしょ。

長田 なら両腕でも？ 目でも？ 生殖器でも？

心 オサダさん考え方おかしいんちやいます？

綾 ちょっとオサダもうヤメえって。言い過ぎや。

長田 そうかな。そうは思わんけど。

心 私は無関心でいたくないんです。社員20人、全員がちょっとずつでもアデコの力になってやれたら、それって大きいじゃないですか。

長田 私にはその話、責任を20分の1にしたら気が楽でしょとしか聞こえへんねんけど。

心 でもオサダさんの考え方やったら、気軽に募金することもできへんし、マドンナなんか世界中にいるすべての孤児を引き取って養子縁組せなアカンってことになりますよ。

長田 何言うてるん。マドンナの養子縁組は美談ちゃうねんで。めっちゃ黒いねんで。知ってますけど。

綾 何なん、黒い”って。

長田 既に引き取り手の決まってる孤児を、カワイイからお金出して横取りしたりすんねん、マドンナは。

綾 おお、人身売買。

長田 ライク・ア・ヴァージンの頃のマドンナどこ行ったんだか。

心 あの歌は私も好きです。

綾 ライク・ア・ヴァージン… 人身売買…

急に話題がライトな方向へ行って、思わず長田は笑ってしまふ。

心も本意では無いが、つられて緩く笑う。

長田 あーあ。

綾が切り替えるように口を開く。

綾 オサダさ、もしかして、私のために言うてくれてる？

心 え？

長田 何を。

綾 余興やりたくないとかって。

心 綾先輩のためって何ですか。

長田 何なん綾。自分で言いたいん？

綾 ちゃうけど、なんか心があんたに追い詰められてんの見たら、私のせいやったら悪いなって思ってる。

心 え何ですか？ さっきから二人、私の分からん話。

長田 深読みし過ぎちゃう。

心、綾が何かを言うのを待つが、痺れを切らし、

心 ちょっと言うてくださいよ。

長田、綾が何か言いそうなのを奪うように、

長田 綾、めっちゃ前やけど田中さんと付き合ってるん。

綾 長田。

心 え。え嘘。

長田 ホンマ。

心 だって、あのコンパ開いてくれたんで、綾先輩と田中さんでしょ。

長田 だからめっちゃ前やん付き合ってたんは。5年とか前。な？（綾に）

心 それってカオリンさん…

長田 知ってる知ってる、カオリンも。

心 じゃなくて、カオリンさんが、

長田 別にカオリンに略奪されたとかちゃうで。綾とカオリンの間にも付き合ってた人おったみたいやし、田中さん。

心 オサダさんが余興やりたくないのって…昔の彼女が余興に出るのが気の毒やから…ってことですか？

長田 さあ。

心 そんなん昔のことでしょ。カオリンさんも知ってる、綾先輩さえ問題なかったら別に…って、綾先輩まだ田中さんのこと？

綾　　なんでよ。

心　　ですよ。若いだけが取り柄の彼氏いますしね。

綾　　そうそう7つも下で夜の求め方がえげつないから、ってコラ。

長田　　こんな短いインターバルでもつかい言うか普通。

綾　　心が振ってきたから。

長田　　それよりアレ言うたっただら？

綾　　え？

長田　　別れた理由。めっちゃ笑うで。

綾　　それ長なる。

長田　　それこそ Teppan やん。

心　　何ですか。気になる。

長田が思い出して吹き出す。

心　　え、そんなに？

長田　　本人に聞いて。

心、綾を見る。

綾　　（洪々）私と田中さんが別れた場所が、その二次会やるレストランやねんけど。
心　　ええ？

綾　　たまたまやと思うで。て、それはええねん。

心　　…ええ。

綾　　あの日、そこで田中さんとディナーしててんやんか。めっちゃ美味しくて、大
心　　絶賛しててん。したら、田中さん、シェフを呼んで欲しいってホールの人に言
綾　　うてんな。

心　　よくテレビで見るやつ。

綾　　実際シェフ来てくれて、深々と頭下げはんねん。忘れたけど、私らのなんかの
心　　記念日で、それなりの値段するコース頼んでたこともあったと思うねんけど。
綾　　うん。

綾　　そしたら田中さんな、切り抜かれたホットペッパーの10%オフの割引券取り
心　　出して、「これ使えますよね」って聞いてん。

綾　　えシェフに？

心　　うん。私もてっきり「美味しかったです」的なことを伝えるんか思ってたから
綾　　ビックリして。

心　　それは…

綾　　でもちやうねん。こっからやってん、田中さんがシェフに伝えたかったこと。

心　　なんですか？

綾　　無言で、何ならちよっと薄ら笑い浮かべて、そのホットペッパーの割引券をシ

心 エフの前で破り捨ててん。
心 どういうこと？
綾 「僕はこんな素晴らしい料理に割引券は使いませんよ」っていう意思表示やっ
たらしい。
心 なんじゃそら。
綾 やろ？ 「なんじゃそら」やろ？
心 はい。

心がほとんど笑わないことを不満に思った綾は長田に、

綾 ちょう、オサダがハードル上げるから。
長田 あれ、鮮度落ちたんかな。私も記憶の中の方が面白い。
綾 喋り損やん。
長田 ブランクあったからちゃう？
綾 まあカオリンと付き合ってから誰にも言うてへんかったけど。もうちよいオ
モロかったやんな？ このエピソード。
心 え、でもそれが理由で別れたんですか？
綾 まあ蓄積もあってんだけど、その時に一気に冷めて。
心 ふーん。
綾 昔の話。田中さんも若かったし。
心 で結局当たってるんですか？ オサダさんが余興したくない理由。綾先輩と田
中さんが別れたレストランてのもあるから…
長田 もう分からん私も。
心 それはないでしょ。私との言い合い何だったんですか？
長田 あれはあれで本心やで。
綾 ちよっともう蒸し返さんときって。ていうか、オサダのせいで心に私と田中さ
んとの過去を明かしたただけになってもうてんけど。
長田 自滅やんか。
綾 誘導した。
心 すみません。私が聞きたい話から大分ズレてきてるんですけど。シンプルな質
問させてください。
長田 ……
心 オサダさん、アデコのことかわいそうやと思わないんですか？
長田 だから、それは、
心 わかりました。いいです。じゃあ、もうひとつ。カオリンさんを祝ってあげた
いって思ってます？
長田 そら思ってるよ。
心 じゃあなんで難癖つけてくるんですか。
長田 難癖って。余興することだけがお祝いの気持ちを伝える方法とは思えんねんけ

ど。

心 それはそうですけど。徹夜で3人バージョン考えて来た綾先輩もいるんですよ。お祝いする気持ちってそういうことじゃないですか？

長田 そういうことってどういうこと？

心 その分力オリンさんのことを思う時間が長いってことですよ。

長田 どうやる。

心 それはそうでしょ。(綾に) ねえ？ 田中さんのことで嫉妬とかもうないんですよ？

綾 ないない。オールナッシング。

心 休日ここにこうやって集まってる時間とか、アデコのお見舞いに行く時間とか、そういうのが全部相手を思うことじゃないですか。

長田 だからそれ言い出したら、カオリンやアデコによって、すべての休みを奪われている私のことも考えてくださいよ。って話ですよ。何故か敬語。

心 オサダさん、単純に嫉妬してるんちゃいます？

長田 誰に。

心 カオリンさんとアデコに。

綾 どういうこと？

心 オサダさん、彼氏ずっとおらんみたいやし、同期のカオリンさんが寿退社するのが悔しいんちゃいます？

長田 私ってそんな器小さく見えてるん？

心 結構。

長田 うわショック。

心 アデコのことにしたって、あの子が持ち前の天真爛漫さでコーケンの社長と上手くやってるんが悔しいんですよ。

長田、黙っている。

心 自分がコーケンとの打ち合わせ上手く行かんかったからって、事故したアデコを責めんといてくださいよ。

綾 心、オサダはそんな人間ちゃうって。

心 じゃあどんな人間なんですか。分かんないんですよ、私オサダさんのこと。

長田 私かて分かって。

心 その後聞いてくるんはどうせアレでしょ？ 「じゃあ心は自分のことどんな人間やと思ってるん」って言うんですよ？

長田 何なん。ケンカしたいん？

心 オサダさんでしょそれは。私やっぱり引っ掛かっています。なんかさっきはマドナの話になったりしたからウヤムヤになりかけてるけど、アデコが事故したんをアデコの自業自得みたいに言うてたんが。

長田 正直な意見やん。

心 正直な意見を正直に言うことが正解ですか？
長田 正解なんかないって。
心 アデコが交通事故に遭ったんは、たとえアデコに原因があったとしても気の毒なことでしょ？ だって腕切断するくらいの事故ですよ？
綾 心、もうその辺にしときって。
心 綾先輩は何なんですか？ オサダさんの言ってること、おかしいと思わないんですか？
綾 おかしいとか、もうそんなんちゃうねん。
心 なんで逃げるんですか。バシツと言ってくれるんちゃうんですか？
綾 心、攻撃向ける相手をずっと探してるだけやねん。
心 それはオサダさんでしょ。
綾 オサダもそうかもしらんけど。オサダは、もうちょっとだけ筋通ってんねん。
心 全然言うてる意味が分からん。どこが？ どこがですか？

無言。

心 答えてくださいよ。
綾 私も、攻撃しようと思ってる相手がいる。
心 は？
綾 田中さん。
心 え？
綾 でもそれをオサダが止めようとしてくれてる。
心 え、私頭悪いですか？ 本当に分かんないんですけど。
綾 あの花見の日な。アデコにチャリで来るように言ったん田中さんやってん。
心 …え？
綾 田中さん幹事やったやろ花見の。買い出しとか、お客さん駅まで迎えに行くのに自転車一台あったら絶対便利やからって。
心 はじめて聞きました。
綾 オサダに言わせたら、そんなんアデコが断れたって言うけど、一応上司やし、距離的にアデコくらいしかチャリで来れる子おらんし。
長田 それを受けるくらいなら酒飲まんかったら良かったんアデコ。
綾 それは正論やねんけど。私は、あの人を、そのことをひた隠しにしてるっていうか、あの人への指示がアデコの事故の一因になってることを無かったことにしてるんが腹立ってて。
長田 全部言うねんな、綾。
綾 もう言わなしゃーないやん。

綾、心に、

綾 ほんで私は余興の中で田中さんにその件どう考えてるか聞いたる思ってた。オサダはそれを止(や)めさせよう思ってる。そういうことやろ？

長田 あんたと田中さんの関係やったら何言い出すか分からんから。そんなんやったら余興なんかせんでエエって思ってる。

綾 あかんよ。ちゃんと背負ってもらわんと。

心 私：分かりませんが、綾先輩がやろうとしてること、おかしいですよ。

綾と長田、心に視線。

心 今の話聞いても、あの事故が田中さんに責任あるって思えないんですけど。

綾 そうやけど。でも、私はあの人が自分が指示したこと黙ってるんがおかしい思うねん。

心 田中さんだってそのくらい分かってるでしょ。きつと渦巻いてますよ、頭ん中で。

綾 ないない。それやったらこんなタイミングで結婚式挙げる？

心 それは挙げるでしょ。結婚式は事故とは関係ないですよ。田中さんとカオリンさんの人生のことなんですから。

長田 ある意味一貫してんな心って。

心 オサダさんも誰のこと守ろうとしてるんか分かりませんが、どうしたいんですか？ 綾先輩と田中さんの関係守ってどうしたいんですか？

長田 どうしたいって。

心 私、原因究明したり、責任追求したり、そんななんでもいいって思うんですけど。何よりもやったらなアカンのは、アデコのサポートでしょ。違いますか？ オサダさんも一回行った方がいいですって。アデコのお見舞い。実際見たらホンマ胸苦しなるから。

長田、時間を掛けてから、

長田 行ったよ。

綾・心 え？

長田 行ってきた。

心 嘘ですよ。

綾 いつ？

長田 たったさっき。あんたらが帰ったすぐ後。

綾 えホンマに？

長田 コーケンの社長さんと一緒に。

綾 コーケンの社長さんと？

長田 うん。やっぱり大分アデコのこと気に入ってはったみたいやから、お見舞い行かれへんかって、しつこく言われて。仕方なし病院に連絡して。

綾と心は長田が次の言葉を吐き出すのを待つ。

長田 そらショック受けたよ私も。

心 じゃあなんで、

長田 だって避けられた事故やろ？ それはホンマやん。

心 でも事実もうああってしまってるんですよ。

長田 世の中見渡してみいや。色んな病氣抱えて生きてる人だらげやん。心かって花粉症ひどいんやろ？

心 花粉症なんかとは比べ物にならないでしょ。

長田 ほんなら腕切断と比べられるもんで何？

心 比べなくていいんですよ。比べるもんじゃない。

長田 たった今、心が言うてんで。花粉症とは比べ物にならないって。それって比べてるってことやんな。

心 ああ、もうなんなんですか、オサダさん。完全に屁理屈じゃないですか。アデコのあの状態見て、胸が痛まなかったんですか？

長田 痛む胸がないねん。

心 はい？

長田 心はさ、アデコの状態見て、興奮してるだけやねんて。

心 はい？

長田 胸が痛いんちゃうくて、胸が踊ってんねん。

心 何言ってるんですか？

長田 身近に起きた刺激的な出来事にワクワクしてんねんて。

心 私オサダさんの言うてる意味が分かりません。

長田 アデコ、あの状態で笑ってたで。私はあの笑顔の意味が分からなかった。

心 心配かけまいとしてですよ。健気過ぎて泣けてくるでしょ。

長田 心配かけまいとして笑う？ アデコってどこまで仏なん？

心 もう、何なんですか。綾先輩も何か言うてくださいよ。

綾 心。

長田 たぶん心、怒る思うねんけど、コーケンの社長がアデコにこんなこと言うてん。

心 はい？

長田 「あんだ、左利きやったな。不幸中の幸いやったな」って。

心 え？

綾 マジで？

長田 アデコそれ言われて、「そうなんですよ。助かりました、左利きで」って笑いなから言うねん。

綾・心 ……。

長田 ほんで社長「うち来たらいつでも雇ったるから…」

長田 「：愛人として」って。

心 なんですかそれ。なんでそんなこと言えるんですか、あのおっさん。
綾 腹立つ。

長田 「左手あったら夜も困らんやろ〜」っていつもの調子で。

綾 キッモ。(気持ち悪いの意)

心 ぶん殴ってやりたいですよ。ぶん殴ってやりたいですよ。

綾 オサダもしかして、そのことでコーケンさんと言い合いになったん？

長田 ううん。

綾 え？

長田 私はただ、ずっと笑ってるアデコのことボーッと見てた。何がおかしいんやろって。

心 な違うでしょ。アデコがどんな思いで笑ってた思ってるんですか。

長田 どんな思いで笑ってたんやろ。

心 何となくは分かるじゃないですか。アデコだって悔しいんですよ。でも笑うしかなかったんですよ。

長田 でも私は何がおかしいねんって思ってる。二人して何を笑ってんねん、て。

心 怒るべきはコーケンの社長さんやん。

長田 でもな、すぐ思い直した。アデコ、ホンマにそう思ってるんちゃうかなって。利き腕が残って助かったって。

心 そんなわけない。

長田 あんな状態やで？ アデコの中で何が救いになるか分からんやん。

心 自分の体の、目に見える一部分が無くなったんですよ？ 一生ですよ？ その喪失感たるや、ですよ。財布落としたとか、携帯壊れたとか、そんなと違うんですよ？ オサダさんの想像力どうなってるんですか。

綾 もうええって心。

心 良くないですよ。私、こんな感覚の人と同じ職場でやってけませんよ。

綾 心。

心 なんですか。

綾 ごめん、オサダ、言うていい？

長田 今関係ないやん。

綾 こんなんフェアちゃうって。

心 何なんですか。

綾 オサダも失ってんねん。

心 え？

長田 綾。

綾 オサダも失ってるから。

心 何を？

綾、長田の顔を見て許可を取ろうとするが、長田は目を合わせて来ない。

心 綾先輩？

綾 左側の胸。

心 え。

綾 切除してんねん。乳がんで。

心、長田の顔を見てから思わず左胸に視線をやってしまう。

心 そんなん、

綾 知らんかったと思う。外から見ても分からんし。

長田 : 下着の技術すごいねんで。

綾 抱えてんねん、オサダも。長い間。

心 え、いつ。

長田 : むっちゃ前。

心 むっちゃ前って、

綾 入社して2年目のときやんな。10年前:までは行かんか。

長田 (冗談めかして) うちの会社呪われてんで。次誰がどこ奪われるんか。

綾 オサダ。

長田 ウソ。

心 全然分からへん。

長田 これが一見分からんから後出しになって後々(のちのち)困ることになるねんけど。

心 後出し:

綾 ホンマ、男にとってのオッパイってなんなんやろな。

長田 同じだけ私がそこにこだわってんねんけどね。

綾 なあ知ってる？ マドンナのお母さんも乳がんで亡くなってんねんで。

長田 知らんし。で「も」って何？ 私死んでへんねんけど。

綾 ホンマや。

と、二人は笑った。

心 : そんな後出し、ずっこいわ。

二人、心に視線。

心 そんなん、一番しんどいこと抱えてる人が一番説得力あるみたいになるやないですか。なんですか？ 私謝ったらいいんですか？ オサダさんが乳がんで乳

房切除してること知らずにギャーギャー騒いですみませんでしたって言ったらしいんですか？花粉症と歯の詰めモン取れてるだけの人間が偉そうなこと言ってますみませんでしたって言ったらしいんですか？ ずっこいわ。結局比較してんのオサダさんやん。

長田 かもしらん。アデコの状態と自分の状態と比べてたと思う。

心 そうやって認めんといってくださいよ。もう誰も何も言い返せないところから言ってること気づいてます？

長田 …ごめん。

心 ごめんて。ごめんて何。

長田 …ごめんなさい。

綾 もうそんな…。

沈黙の後、長田が絞り出すように口を開く。

長田 私は、胸の切除手術した後、一切笑えんかってん。

綾と心、長田に視線。

長田 自分の手術の痕見て、もう一生恋愛も出来へんって思った。胸の話題避けて暮らすのがこんな難しいんかって思ったし、女友達からの温泉旅行の誘い断る理由をネットで調べてる自分もめっちゃ滑稽やって思った。こんなキレイに隠せるから余計… 胸のこと言えないまま付き合った人がいて、この人なら大丈夫って思って、初めて脱いで見せたときに、「出来そこないのニューハーフ」って笑いながら言われて。悔しくて、朝まで号泣して相手困らせたこともあった。なんか、もう、学生ん頃に想像してた大人の自分がどこにも見当たらんくて、苦しくて、どこ歩いたらいいんか分からなくなってた…。

綾 オサダ。

長田 今はもうアレやで。開き直ってる部分もあるし、仕事を支えてくれてる部分もあるから、あのときは違うけど。でも、アデコはなんであんな笑えんねやろって。ホンマそれだけやねん。ホンマそれだけが…、悔しいっていうか。

綾 理由なんかないんちゃう。心の言う通り、笑うしかなかったんちゃう。

長田 負けた感じするわあ。

綾 無いって、勝ち負けなんか。

心、黙って聞いていたが、突然荷物をまとめ出す。

綾 心？

心 すみません、もう歯医者時間で。

綾 え、この期に及んでまだ歯医者行くつもりなん？

心 「この期に及んで」って何ですか。最初から今日は歯医者行くなって言ってたやないですか。

綾 今の話聞いてなんかあるやん。

心 ありますけど、謝るとか違うでしょ。

綾 謝るとか違うよ。

心 私は私の筋通すしかないから。申し訳ないですけど、お先失礼します。

と、立ち上がる。

綾が心の態度の真意を計りかねて、心配して声を掛ける。

綾 心。

心 ああ、大丈夫です。なんか、オサダさんのこと、触りだけかもしれないけど、ちょっと分かったような気がするし。それだけで今日はもう、お腹いっぱいって言うか。一回持って帰らんと。

綾 ああ。

心 なんて行きます。また余興のこと決まったら教えてください。

長田 余興。ホンマや、余興や。

心 あ。今日麻酔するかもしれないのに花粉症の薬飲んでもうた。

綾 知らんがな。

心 どうしよ？（綾に）

綾 誰に助け求めてるん。

心 とりあえず行きます。

綾 うん。早よ行き。

心 すみません。また明日。

心、店を出る。

残された綾と長田。少し所在ない感じではあるが、冷めきったコーヒーに口をつけるなどして間を埋める。

長田 今日めっちゃ喋ってもうた。

綾 オサダがコーケンさんとお見舞い行っただとは知らなかったわ。

長田 私かて行く思ってたから。

長田 「うち来たらいつでも雇ったるわ：」か。

綾 「愛人として」な。

長田 それもあの人なりの照れ隠しやったんかな。

綾 そんなの通用せえへんから。訴訟や訴訟。

長田はちょっと笑った。

長田 私もまだまだやな。

綾 何が。

長田 うーん。何がやる。人として？

綾 当たり前やん。

長田 (伸びをしながら) あーマッサージ行きたい。

綾 せやけど、なんであの人、あの店で二次会やることにしたんやろ。

長田 「お前のことはもう過去の女やから安心しろ」っていう意思表示ちやう？

綾 いらんし、そんな意思表示。

長田 田中さんらしいやん。

綾 ホンマさぶいわ。

長田 ほんで、余興どうするん。

綾 もう言うつもり無いし。

長田 ふーん。代わりにあの Teppan の別れ話ぶち込んだったら？

綾 何言うてるん。

二人、笑う。

綾 なあ。オサダってホンマあれから何も無いん？

長田 笑顔のまま、綾を見る。

綾 え、何その顔。

長田 一個だけウソついた。

綾 は？

長田、笑う。

綾 え何よ。隠し事だらげやん。

長田 女医ちやうねん。

綾 え？

長田 接骨院の先生。

綾 ええ？

長田 半年くらい前に担当変わって。めっちゃ男前の先生。年下やけど。

綾 オサダ：

長田 ご飯誘われた。

綾 なにそれ！ ちやうなにそれ！

長田 まだご飯誘われただけやで。

綾 さっきからマッサージ行きたいとか行って、その先生に会いたいだげやん！
長田 そんなちやうし。

綾 うーわひっど。ズルう。エロ。シヨック…
長田 なんなん。まだ付き合ってもないのに。

綾、非難の表情が段々と緩んでいって、

綾 まあ良かったやん。

長田 うーん。

綾 ええなあ。オサダが恋愛かあ。

長田 まだ分からんて。…まだ分からんけど。

綾 誘われて嬉しかったんやろ。

長田 でも、久々に。胸、ドキドキした。ちょっとだけ。

綾、思わず長田の胸を見る。それを誤摩化すように、

綾 あー、ケーキ食べたい！ よし、やっぱ行こ。ケーキ。

長田 ええ？

綾 仕切り直し、仕切り直し。

と、言いながら身支度を進める。

長田 何を仕切り直すん。

綾 オサダの恋バナを聞く会やんか。

長田 はあ？ 結構です。

綾 聞いてほしいくせに。

長田 ていうか、余興は？

綾 ケーキ食べながらやろ。

長田 もう、いっそゴハンいかへん。時間的にも。

綾 ゴハンはケーキの後。

長田 どんだけ食べる気。だから綾は…。

綾 何。

長田 自分の胸に聞いてみたら。

綾 言いたいことあるんやったら最後まで言いいや！

などと言いながら店を出る二人。

空になったコーヒーショップのテーブルとイス。

ついさっきまで、確かにここには三人の喧騒があった。